

# 関東サイエンスツアーのしおり

2016年8月23日～25日

兵庫県立神戸高等学校

( )年 ( )組 ( )番 氏名 ( )

## 目次

● 参加者名簿.....	- 2 -
● 旅程表.....	- 3 -
● 初日・最終日の移動.....	- 4 -
.1. 移動班の名簿.....	- 4 -
.2. 移動班のルール.....	- 4 -
.3. 新幹線の割当席.....	- 4 -
.4. 新幹線の乗車順・乗車時の注意事項.....	- 4 -
.5. 貸切バスの利用について.....	- 5 -
● 東京大学（食事・見学）.....	- 6 -
.1. 東京大学本郷キャンパス.....	- 6 -
.2. 本郷キャンパスの見どころなど.....	- 6 -
.3. 東京大学医科学研究所（初日のメイン行事）.....	- 7 -
.4. 東京大学医科学研究所・研究室見学の班編成.....	- 7 -
.5. 見学注意事項.....	- 7 -
.6. 参考.....	- 8 -
● 宿泊.....	- 9 -
.1. 宿泊施設のデータ.....	- 9 -
.2. 部屋割.....	- 9 -
.3. 宿舎周辺地図.....	- 10 -
● 研修センターでの予定（1日目～2日目）.....	- 10 -
8月23日(火).....	- 10 -
8月24日(水).....	- 10 -
● 筑波での班別実習.....	- 10 -
.1. 班編成.....	- 10 -
.2. 実習場所ごとの実習時間.....	- 12 -
● 研修センターでの予定（2日目～3日目）.....	- 12 -
8月24日(水).....	- 12 -
8月25日(木).....	- 12 -
● 日本科学未来館での実習・見学.....	- 13 -
.1. 日本科学未来館の班編成 右図の通り（6,7人ずつ6班）。.....	- 13 -
.2. 日本科学未来館での活動.....	- 13 -
.3. 活動（実習）内容.....	- 13 -
● 帰路の予定（25日）.....	- 13 -
● ツアー後の学習について.....	- 14 -
.1. 提出物（課題）.....	- 14 -
.2. 課題の提出締め切り日・提出方法.....	- 14 -
.3. 課題に関する質問の方法.....	- 14 -
.4. 課題のファイルサイズに関する注意点.....	- 14 -
.5. 東大・筑波レポートの書式・要領.....	- 15 -
● その他.....	- 16 -

## ■ 参加者名簿

- 43名 生徒39名（1年：女子14名・男子25名）、引率4名

{情報削除}

※ 班長は、**背景色黄色**（一部**橙色**）で示した。

### 新神戸駅での並び方（移動班はしおりの4ページ参照）

整列開始(7:10頃)から ↓

#### 集合・整列の要領

- ① ○T付近に移動班**往路班長**を先頭に1列で整列し、
- ② 移動班**班長**は、○Tからしおり等を受け取って班員に配布しつつ班員を確認し、
- ③ 移動班**班長**は、○Tに出欠を報告。

整列後しおり等受け取り ↓

	13班 . . . .
	14班 . . . .
	15班 . . . .
○T	16班 . . . .
○T	17班 . . . .
	18班 . . . .
	19班 . . . .
	20班 . . . .

7:20集合/点呼完了, 挨拶/連絡開始

7:20-7:35 挨拶・諸注意 7:35-7:40 予備時間 7:40移動開始(最後尾ホーム着7:47) 発車7:56

■ 旅程表

**注意事項**

- 行程を完全把握せよ。
- 医科学研究所到着まで**移動班**で行動せよ。
- 下車時、ゴミ・忘れ物の確認を怠るな。
- 移動中に列を長くしない(間隔をあげない)。

月日 (曜)	行 程
8/23 (火)	<p>【新幹線 ⇒ 貸切バス】</p> <p>出発 新神戸 (のぞみ112号) 7:56.....(14号車).....</p> <p>乗換 東京 貸切バス(素早く荷物掲載) 10:43.....11:00.....</p> <p>東大到着 本郷キャンパス 11:30.....</p> <p>←何をするか ←どこで ←いつ</p> <p>本郷キャンパス訪問/昼食・散策・トイレ等 (東大本郷キャンパス11:30~13:40) 11:30.....</p> <p>点呼完了 (貸切バス内) 13:40.....</p> <p>出発 13:45.....</p> <p>←何をするか ←どこで ←いつ</p> <p>到着 (貸切バス) 14:20.....</p> <p>医科学研究所・河岡研究室訪問 (白金キャンパス14:30~18:00) 14:30.....</p> <p>見学終了 食事 17:00.....</p> <p>出発 18:00.....</p> <p>宿舎に到着 (貸切バス) 20:10.....</p> <p>ミーティング 20:20.....</p> <p>風呂等 以下、略 20:50.....</p> <p>←何をするか ←どこで ←いつ</p>
8/24 (水)	<p>【3班ともタクシー】</p> <p>A 宿舎 —— 物質・材料研究機構 —— 宿舎 &lt;生徒15名+引率1名&gt; 8:40.....9:00.....16:15.....16:40</p> <p>B 宿舎 —— 畜産研究部門 —— 筑波事務所食堂 —— &lt;生徒5名+引率1名&gt; 8:20.....9:00.....11:50(移動).....12:10(昼食)12:50.....</p> <p>B 宿舎 —— 農業環境変動センター —— 筑波事務所食堂 —— &lt;生徒4名+引率1名&gt; 8:20.....9:00.....11:55(移動).....12:10(昼食)12:50.....</p> <p>(B続き) —— 筑波事務所食堂 —— 果樹茶業研究部門 —— 宿舎 &lt;生徒9名+引率2名&gt; .....(昼食)12:50.....13:10.....16:00.....16:45</p> <p>C 宿舎 —— 高エネルギー加速器研究機構 —— 宿舎 &lt;生徒15名+引率1名&gt; 8:30.....9:00.....16:15.....16:45</p>
8/25 (木)	<p>【貸切バス ⇒ 新幹線】</p> <p>出発 宿舎 (貸切バス) 7:45.....</p> <p>到着 未来館/ 実習 ⇒ 昼食 ⇒ 見学 (日本科学未来館10:00~15:00) 9:55.....10:00.....12:20.....13:10.....</p> <p>点呼完了 15:00.....</p> <p>出発 15:15.....</p> <p>←何をするか ←どこで ←いつ</p> <p>乗換 品川駅(15:50~16:30) 15:45.....</p> <p>トイレ等 集合完了 16:30.....</p> <p>出発 (のぞみ189号) 16:47.....</p> <p>到着 新神戸 19:29.....</p> <p>あいさつ等⇒解散 20:00</p>

備考

- 8/23,8/25 ○○○○バス 緊急時の連絡先 {情報削除}
- 8/24 物質材料 ○○タクシー 連絡先 {情報削除} 配車8:40, 16:15
- 8/24 畜産研究 ○○タクシー 連絡先 {情報削除} 配車8:20, 16:15
- 8/24 農環変動 ○○タクシー 連絡先 {情報削除} 配車8:20, 16:15
- 8/24 高エネ ○○タクシー 連絡先 {情報削除} 配車8:30, 16:15
- 8/25 弁当業者 ○○○○ 注文変更 {情報削除}, 他の問合せ {情報削除}



{情報削除}

**復路（神戸へ） ※往路と同じ要領**

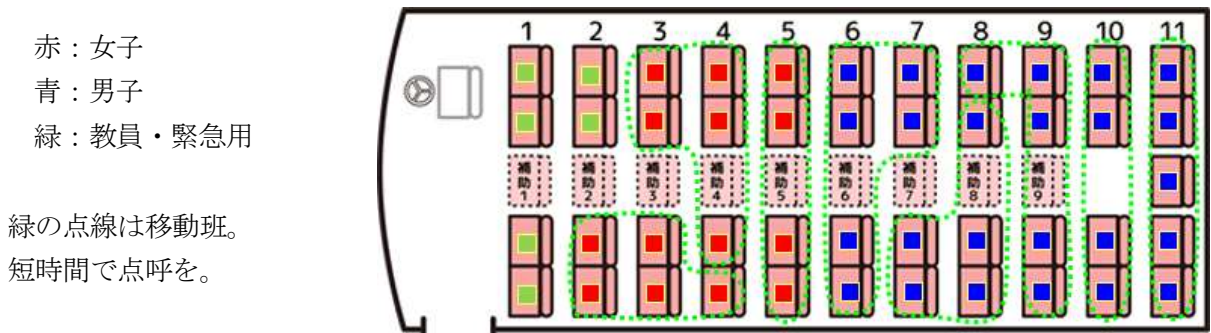
- 14号車側（西側）入口から○先生、⑮班、⑭班、⑬班、○先生の順で乗車。
- 14号車側（東側）入口から○先生、⑯班、⑰班、⑱班、⑳班、○先生の順で乗車。ただし⑲or⑳班は、15号車西側入口に乗客がなければ、○先生の指示で15号車から入って14号車に移動。
- 注意事項は、往路と同じ。

<b>新幹線座席表</b>		<b>復路 のぞみ 189号</b>	
<b>復路</b>	<b>14号車</b>	8月 25日	品川 → 新神戸 16:47 発 19:29 着
		生徒 39名 + 先生 4名分座席	

**5. 貸切バスの利用について**

初日の「東京駅⇒東京大学⇒筑波研修センター」、最終日の「筑波研修センター⇒日本科学未来館」、「日本科学未来館⇒品川駅」は貸切バスを利用する。座席は、大まかに下図のとおりとする。

- 東大で必要な荷物は、新幹線乗車中に小さめのカバンにまとめておこう。特に、東大本郷キャンパスや医科学研究所等、途中でバス床下から荷物を取り出すことは避けたい。
- バス乗降時に時間がかからないこと。あらかじめ、どの班がどの席を使うか、班長同士で相談を。
- 最後部の座席は、男子5人班のうち、車酔いしそうな者がいない班が使用しなさい。
- 確実な点呼・点呼時間短縮のために、全員が協力を。
- 必ずシートベルトを着用すること。車酔いする者は事前に教師に告げて指示を仰ぐこと。



## ■ 東京大学（食事・見学）

### 1. 東京大学本郷キャンパス

全員の所在が確認できるよう、移動班単位で行動すること（単独行動は禁止）。

- ① 東京駅からバスで移動⇒大きな荷物はバスにおいて下車。  
※ 貴重品の取り扱いに注意！
- ② 大講堂（安田講堂）前で記念撮影。
- ③ 2016年度は、中央食堂で班ごとに昼食（席を確保⇒荷物を見張りながら順番に食券購入⇒食事）ができない。昼食は、班単位で他の食堂を利用すること（このページの最下行を参照）。
- ④ キャンパス散策（移動班単位で）。
- ⑤ 13:40にバス内で集合完了（移動班往路班長が○先生に報告）し、速やかに点呼後、バス出発。

#### 注意事項

- 昼食時後や移動時に忘れ物や盗難被害にあわないように、班内で役割分担をして確実な荷物の管理に努めること。

### 2. 本郷キャンパスの見どころなど

以下の図や文章は、<http://www.ut-life.net/guide/tour/sightseeing.php>からの引用である。

#### ① 安田講堂

東大生でも講堂には滅多に入りませんが、半地下部にある第二購買部や中央食堂は学生生活に欠かせない場所となっています。

#### ② 三四郎池

三四郎池はキャンパス内でもっとも自然が感じられ、落ち着く場所です。

#### ③ 赤門

正式名称は「旧加賀藩屋敷御守殿門」で、国の重要文化財に指定されています。

#### ④ コミュニケーションセンター

赤門から正門方向へ歩き出すと左手にすぐ見えてくるのがコミュニケーションセンターです。大学での研究成果の資料展示や、オリジナル商品の販売を行っているので、寄って行ってはいかがでしょうか。



以下、○先生による補足

- 右図の順路は時間がかかる可能性があるため、頻りに時間を確認しながら行動を。
- この他「健康と医学の博物館」も入館可能(無料)で、8/31まで企画展「見えざるウイルスの世界」あり。12時～13時は閉まっているかもしれないので、真っ先に行くか13時をめぐりにダッシュ！
- 生協書籍部には、たくさんの書籍(専門書等)がある。時間の経過に気づかなくならないよう注意。その2階は生協第2食堂。
- 東京大学総合研究博物館も入館料無料で、常設展示「UMUTオープンラボー太陽系から人類へ」、国際共同展示「Qafqaz Neoliti-東京大学アゼルバイジャン新石器時代遺跡調査 2008-2015」がある。
- 今回、中央食堂は休業しているので、配布した本郷地区キャンパスガイドマップを参照して、他の食堂で昼食をとること。マップの⑥⑦⑬等が候補か。いずれも混雑が予想される。

### 3. 東京大学医科学研究所（初日のメイン行事）

東大で必要な荷物は、自宅で、あらかじめ小さなカバンにまとめてあればよいが、そうでなければ、新幹線乗車中に入れ替えておこう。

バス乗降時に、時間がかからないように。特に、バス床下の荷物をほじくらなければならない状況は避けたい。



- 13:45 赤門付近(変更の可能性有)出発(点呼完了13:40)  
首都高速利用すれば14:20頃到着できるか。
- 14:30 白金キャンパス1号館前集合(見学担当者到着までバスで待機)。
- 14:30~17:00 4班に分かれて、見学・実習。
- 17:00~17:30 実習を終えた班から白金ホール食堂部で夕食。食堂混雑時、短時間キャンパス散策可。  
(散策可能な場所、遵守すること。白金ホール購買部への立ち入り・物品購入は可)
- 17:25~17:55 入れ替わって夕食。早く食事を終えた班は、短時間の散策可。余裕をもってバスへ移動。  
見学・実習完了が17:20頃にずれ込む可能性あり。その場合、食堂は混むが我慢。
- 18:00 バスで点呼完了、宿舎(筑波研修センター)へ出発(途中、1回トイレ休憩)
- 20:10頃 筑波研修センターに到着見込み。

### 4. 東京大学医科学研究所・研究室見学の班編成

右図のとおり。黄色の背景は班長。

### 5. 見学注意事項

- 研究室には、貴重で高価な機器が所狭しと置かれている。不注意で落としたり壊したりしないように、注意深い行動を。
- 全員がそろっている場合は委員長か副委員長が、班別行動時は各班の班長が、指示をされなくても必要と判断したら、お礼のあいさつや号令をかけること。

**以下、医科学研究所より。よく読んだ上で遵守すること！**

- 1) 案内者の指示には必ずしたがって下さい。
- 2) 許可された区域以外へは立ち入らないで下さい。
- 3) 許可なく周囲のものに手を触れないで下さい。
- 4) 動きやすい、汚れてもかまわない服装で参加して下さい。  
(※ 制服で参加します)
- 5) 見学中の飲食は禁止です。
- 6) 危険ですので研究所内でふざけたり騒いだりしないで下さい。
- 7) 病院が併設されており患者さんがいます。研究所敷地内では静粛にして下さい。
- 8) ゴミは各自で持ち帰って下さい。
- 9) 何かあった時は躊躇せず、すぐに案内者に報告して下さい。
- 10) 案内者が危険と判断した場合は見学を中止することがあります。
- 11) 写真を撮りたい場合は案内者に声をかけて下さい。

※ 当日撮影した写真はレポートには使用して構いませんが、Instagram、ブログ、ツイッターなどには載せないで下さい。

{情報削除}



6. 参考



{情報削除}

## ■ 宿泊

### 1. 宿泊施設のデータ

- {情報削除}

- 洋室(シングル)

レンタルバスタオル 100円

フェイスタオル販売 200円

歯磨きセット販売 200円

### 2. 部屋割

- 「来た時よりも美しく」を心がけること。
- トイレは、1・3・5階が男子、2・4階が女子。
- 各自、忘れ物のチェックや清掃を確実に！
- **背景黄色**が部屋班の班長。他の宿泊者の迷惑にならないように、班員を統率すること。
- 例えば「班員が朝食に遅れる」ことがないよう、班長だけでなく、全員が自覚をもち、協力し合おう。
- 班長は、チェックアウト時に班員の部屋を最終確認する。

下図(↓) 自分が所属する班の、班員の部屋に目印をつけよう。

兵庫県立神戸高等学校 様 (平成28年8月23日～25日2泊3日)  
お部屋割り図面

宿泊棟(シングル3階)

非常口	
302	※ 301
304	303
306	305
308	307
310	309
312	311
313	自炊室
314	洗面所
315	洗面所
316	男子トイレ
317	階段
※ 318	エレベーター
320	※ 319
322	321
324	323
326	325
328	327
329	330

宿泊棟(シングル4階)

非常口	
402	※ 401
404	403
406	405
408	407
410	409
412	411
413	自炊室
414	洗面所
415	洗面所
416	女子トイレ
417	階段
418	エレベーター
420	419
422	421
424	423
426	425
428	427
430	429

3階301～327号室

4階401～415号室

※印＝教員のかた

出入口が01号室と02号室(非常階段)と

18号室(階段エレベーター前)にございます。

29、30号側の非常扉は避難はしご用で、通常時の出入りができません。

### 注意事項

- 貴重品の管理
- 荷物の整理整頓
- 来た時よりも美しく

{情報削除}

### 3. 宿舎周辺地図

必要が生じて外出する場合は、① 宿泊班の班長に外出先とおよその帰宅時間を告げ、② 複数で、外出してください。門限は22時とします。

班長は、毎晩、班員が全員揃っているか確認し、23時にOTに報告する。

- 班員は、班長が班員全員の状況を把握できるように協力を！
- 外出時は班単位で行動を（全員そろふ必要はないが単独は禁止）。

{情報削除}

※ 近くにファミリーマートがありますが、交通・他者とのトラブル等、十分に気を付けること。

#### ■ 研修センターでの予定（1日目～2日目）

8月23日(火)

20:10頃 筑波研修センター着。

すぐに第2研修室(食堂がある棟の2階)へ。

20:20頃～ ミーティング。その後、部屋の鍵を受け取ったら、各自の部屋へ。

20:50頃～ 部屋では荷物の整理・初日の研修のまとめ等を行う。

入浴（22：30までに完了）

22:30 就寝準備（23：00就寝）

**注意事項:** 時間の余裕がありません。

- 時間厳守。全体が、ひとりの影響を強く受ける。
- 特に集合は余裕をもって。「5分前」を心がけよう。

8月24日(水)

07:15 起床(絶対に、寝過ぎさない!)

宿泊班の班長は、7:20までに班員が起床していることを確認する。

07:30 朝食・・・宿泊班班長は班員がそろったら教師に報告⇒食事開始。

**注意事項:**

- 2日目の夜、班別の発表あり。
- 2班以上に分かれた場合は、発表内容を分担してから発表資料を作成すること。

#### ■ 筑波での班別実習

##### 1. 班編成

- 筑波実習報告会(発表)のために物質・材料研、高エネ加速器研は2班編成、農研機構は3班編成である。
- **班長**は、各自の判断で号令をかけたり、実習中の役割分担を決定するときに、リーダーシップを発揮するように。また、退所前に班長のいずれか1名がお礼のあいさつを行なうこと。
- 次ページの表で、筑波での実習班と報告会での発表班を示した。農研機構関連の研究所で研修した者は、実習先と発表の班編成がややこしいが、あらかじめよく理解しておくこと。

{情報削除}

----- 研究所からの連絡・お願い(参加者連絡会で説明済&追加事項) -----

- 畜産研究部門:持ち物(選択済み着替え一式・脱いだ衣服を入れる袋・薄手の上着・髪ゴム)等。
  - 果樹茶業研究部門:暑さ対策・汗対策などの準備(飲み物、帽子等も)。
  - 農研機構:直射日光対策は、共通して全員にお願いしたい。飲み物等が不足しても自動販売機がすぐ近くにあるとは限らないので、例えばお昼に筑波産学連携支援センター内で購入する等、先を見据えた対策を。
  - 物質・材料研究機構:液体窒素を使うので、念のため長いズボンの準備をする(下半身、肌を露出させない)。
-

## 2. 実習場所ごとの実習時間

### 注意事項:

- 時間厳守。筆記用具等を持って、出発の5分前にはロビーに。

下記の括弧内は、研修センターの出発時刻・各研究所の出発予定時刻である。見学・実習の開始時刻は9:00で、16:00終了予定だが、終了が遅れることが多いので余裕を持たせてある。

A:物質・材料研究機構 (8:40~16:15) 引率: {情報削除}

{情報削除}

B:農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構) (8:20~16:15) {情報削除}

午前は畜産研究部門と農業環境変動研究センターに分かれ、午後は果樹茶業研究部門へ。

(畜産研究部門) {情報削除}

(農環変動研究センター) {情報削除}

(果樹茶業研究部門) {情報削除}

C:高エネルギー加速器研究機構 (8:30~16:15) {情報削除}

{情報削除}

## ■ 研修センターでの予定 (2日目~3日目)

8月24日(水)

16:40頃~ 班毎に報告プレゼン準備。(大浴場は17:00から使用可能。各班で計画を！)。

17時過ぎ~ 第1研修室が使用可能になり次第、班毎に報告プレゼン準備

18:45 夕食(食前点呼は筑波実習班班長が行う。食べ終わった者からプレゼン準備)

19:45 第1研修室着席完了

**19:45** 筑波実習報告会(約1時間)。  
発表3分30秒~4分+質疑1分以内+交代・準備30秒以内をめざして  
発表者の第一声で計測を開始し、3分で1鈴、4分で2鈴(発表終了)、5分で3鈴(質疑終了・次準備開始)とする。

20:45 翌日の連絡等。

21:00~ 入浴(22:30までに済ませ、本日のまとめ等を各部屋で)

22:30 就寝準備(23:00就寝)

23:00 班長は、班員を確認してOTに報告。

7:45 - 7:55	筑波実習報告会開始・諸注意等
7:55 - 8:00	物質①AM 準備30秒,発表4分以内
8:00 - 8:01	質疑 1分
8:01 - 8:06	物質②PM 準備30秒,発表4分以内
8:06 - 8:07	質疑 1分
8:07 - 8:12	畜産 準備30秒,発表4分以内
8:12 - 8:13	質疑 1分
8:13 - 8:18	農環変動 準備30秒,発表4分以内
8:18 - 8:19	質疑 1分
8:19 - 8:24	果樹茶業 準備30秒,発表4分以内
8:24 - 8:25	質疑 1分
8:25 - 8:30	高工①AM 準備30秒,発表4分以内
8:30 - 8:31	質疑 1分
8:31 - 8:36	高工②PM 準備30秒,発表4分以内
8:36 - 8:37	質疑 1分
8:37 - 8:45	講評・報告会終了
8:45 - 9:00	諸連絡(最終日日程等)

振鈴: 3分,1分(発表終了),1分(質疑終了)

8月25日(木)

06:30 起床、部屋の掃除、チェックアウトの準備。

06:45 朝食(前日の朝と同じ要領で)。  
食べ終えた生徒から部屋を再確認し、荷物をもってロビーに集合。

07:40~ 宿泊班班長は班員の部屋を確認(班員はバス乗車)し、3Fは○先生に報告、4Fは○先生に報告。

07:45 チェックアウト手続き完了して出発 → (貸切バス 途中1回休憩) → 日本科学未来館へ。

09:55 日本科学未来館到着。その後、急いでトイレ、準備。

### 注意事項:

- 最終日の朝はあわただしいので、就寝前に荷物整理!
- 部屋に忘れ物を残さない。
- ゴミは各階のゴミ置場が望ましいが、その状況も見ても判断を。
- 来た時よりも美しく。

## ■ 日本科学未来館での実習・見学

### .1. 日本科学未来館の班編成

右図の通り（6,7人ずつ6班）。

### .2. 日本科学未来館での活動

午前中は、未来館の方のご指導で実習(グループディスカッション)を行う。

班は「1主婦」、「2政治家」、「3原子力研究者」、「4環境サークルの代表」、「5原発立地地域の住民」、「6環境保護団体の職員」であり、「1主婦」「4環境サークルの代表」は火力発電に関して、「2政治家」「5原発立地地域の住民」は原子力発電に関して、「3原子力研究者」「6環境保護団体の職員」は再生可能エネルギーに関して興味・関心が高い、という想定である。

班内には「リーダー」、「書く人」、「発表する人」、「最後の発表をする人」、「つっこみ(2～3名)」の係がある。

午後(昼食後)は自由見学。未来館の特徴は、フロアにおおぜいの「科学コミュニケーター」や「展示解説員(ボランティア)」と呼ばれるスタッフが、対話を通して科学を教えてくれることである。午後は、冊子「サイエンスツアー提出物」のp12～に記入しながら活動すること。

{情報削除}

### .3. 活動(実習)内容

到着時刻により時間がずれる場合あり。当日の指示変更にご注意！

10:00～10:10 5Fへ移動。

10:20～12:30 未来館によるワークショップ「エネルギーについて」。

12:30～13:20 昼食(7F)。開始は遅れる可能性あり。

13:20～15:00 自由見学(昼食を早く終えた者から)。館内のスタッフへの質問や対話を通してより深い知識を獲得しながら！別料金だが特別展示も見学可。

15:00 集合・点呼完了(1F 売店横ロビー)

15:15 バス出発

#### 注意事項:

- お弁当の取りまわしにご注意。

#### 注意事項:

- 自由見学ではお活動の記録は必要だが、時間をとりすぎず、見学時間を十分に！

## ■ 帰路の予定(25日)

15:15 日本科学未来館を出発 → (貸切バス) → 品川駅。

15:50頃 品川駅着。

その後、新幹線改札付近に荷物を置いて自由時間(約20分)。

16:30 集合・点呼完了。16:35頃に新幹線ホームへの改札を通る予定。

16:47 品川駅発(のぞみ189号 14号車)。  
19:29 新神戸駅着 集会後、解散(20:00頃か)。

## ■ ツアー後の学習について

### 1. 提出物(課題)

- **東大見学のレポート** : A4用紙数枚にワープロで作成したもの。3ページ以上必要。サポートサイトのテンプレートを使うとよい。ファイル名は、例「1942氏名-東大レポート.docx」のようにつける(.docxの部分を変換子という。変換子はソフトが適切なものを自動でつけるので意識しなくてもよい)。ほんの一部であっても、他者の作成物を参考にしてはいけない。このレポートは、全員分を東大に提出する。  
※ 感謝の気持ちを込めて、充実した内容になるように努力して仕上げよう。
- **筑波研究学園都市の班別実習のレポート** : 手書き可だが、できるだけワープロでの作成を目指してほしい。A4レポート用紙3枚以上。レポートは筑波の研究所に提出する。
- **冊子「関東サイエンスツアー提出物」** : 表紙のチェックリストに従って内容を確認してから提出する。

#### 注意事項 :

図や表等は、本文に関係が深いものに限定すること。本文を補足する内容とし、それらの大きさも適度なものであること(以前、図や表でページ数を増やそうとしたために再提出になった生徒あり)。

### 2. 課題の提出締め切り日・提出方法

- **提出締め切り日** : **9月5日(月)** ※ 事前に提出する場合は、総合理学部教員に直接手渡すこと。
- **冊子と紙媒体のレポートの提出方法** :
  - ・ 委員長(担当者)が集めて出席順に並べ、総合理学部職員室へ。期限前に提出する場合は個人で持参。
- **電子ファイル(東大見学のレポート・筑波班別実習のレポート)の提出方法** :
  - ・ 連絡用のメールアドレスに送信する(添付ファイルとして提出する)。その際、メールのタイトルは「1942氏名-東大レポート提出」のように、誰のどんなレポートかが分かるようにすること。
  - ・ USBメモリ等に保存して、総合理学部の職員に手渡す(記憶メディアはファイルをコピーした後に返却します)。ファイルサイズが大きすぎるとしたら、メールよりもこの方法がよい。

### 3. 課題に関する質問の方法

- 関東サイエンスツアーのサポート用掲示板 [http: {情報削除}](#)
- 連絡用メールアドレス {情報削除} (レポートの提出もここに)

### 4. 課題のファイルサイズに関する注意点

- デジタルカメラなどで撮影した写真をワードに貼り付けると、文書のファイルサイズが極端に大きくなる場合がある(ファイルサイズが大きすぎてメールが届かない場合もあり)。ファイルサイズを小さくするためには、例えばワードの場合は、貼り付けた写真等を一つ選んでクリックし、次に上方に現れた「書式」タブをクリックし、左の方の「図の圧縮」メニューを表示させる。「圧縮オプション」の「この図形だけに適用する」のチェックをはずしてから「OK」ボタンを押すことで、ファイルサイズを小さくすることができる。

5. 東大・筑波レポートの書式・要領

- 東大のレポートは、下記の書式で作成すること。サポートサイトにテンプレートをおいたので、ダウンロードして使おう。分量は3ページ以上。大きすぎたり必要とは考えにくい図や写真は、不可。

この用紙の説明を消して使おう（この行を消して題名に！）

---- 必要ならレポート題名の副題（12pt） ----

兵庫県立神戸高等学校 ○年○組○番 神戸 太郎

ここに、東京大学の研究室等の見学レポートのアブストラクト（要約）を記述（明朝 10.5pt）する。この用紙は、サイエンスツアー連絡サイトからダウンロードして使用しよう。要約用のこの枠は、隅のマーク等をドラッグすることで行を増やすことも可能。

1. 見出し1（ゴシック 12pt）

1.1. 見出し2（ゴシック 11pt）

本文（明朝 10.5pt）はここから。  
東京大学医科学研究所・河岡研究室での見学や実習について記述する。分量は3ページ以上とする。なお、謝辞や参考文献は必ず3ページ目以降に記述すること（2ページ目までに入ると分量が少なすぎる）。文体は常体（である調）とする。レポートはそのまま（手を加えたりせずに）東京大学に送付するので、充実した内容になるように頑張れ！

本文を補足説明するために図や表を用いるとよいが、次の点に留意せよ。

- ・ 図や表は本文を補佐するものであること（つまり本文に説明が必要）
- ・ 研究内容や見学内容に関わるものであること（記念写真のようなものは避ける）
- ・ 図1：○○○ や、表1：・・・を図の下や表の上に記入すること

引用する場合は、引用した範囲が特定できるように「」等でくくり、出典を必ず参考文献の欄に記載すること。引用ではない場合でも、本レポート作成に当たって参考にしたものは記載せよ。

ファイル名は、「1942 氏名-東大レポート.docx」のように、出席番号と氏名を入れること。

タイトル等の例：下記は項目の構成例である。タイトルをそのまま使う必要はなく、むしろ適切なタイトルに変更するほうがよい。

1. はじめに

2. ○○研究室の「○○研究」について

2.1. ○○研究の目的・概要・特徴

2.2. ....

2.3. ○○研究に関する考察・感想

3. ○○実習について（実習が行われた場合）

3.1. ○○実習の目的

3.2. 方法・・・

3.3. 考察・感想

4. ○○施設の・・・（注：施設を見学した場合）

4.1. 施設の内容

4.2. 研究との関連やその施設の特徴

5. おわりに

謝辞

[参考文献・参考 URL]

番号に続けて、書籍の場合は、著者名、書名、ページ、出版社、発行年を記述し、Web ページの場合は、Web ページのタイトル、http://から始まる Web ページのアドレス(URL)、閲覧した日付を記述すること。例：

[1] 東大太郎, 応用化学考察, pp.48-52, 東大図書出版, 2003



- 筑波の班別実習のレポートは、個別のねらいがある場合、書式を変更してもよい。実習や見学の内容、実習や見学で得られたことを再確認できるようにまとめること。分量は東大レポートと同様。

筑波研究学園都市

## 題名(題に施設名も入れる) 説明部分を消して使おう

――― 必要ならレポート題名の副題(12pt) ―――

兵庫県立神戸高等学校 ○年○組○番 神戸 太郎

ここに、本レポートのabstract(要約)を記述(明朝10.5pt)する。  
この用紙は、サイエンスツアー連絡サイトからダウンロードして使用しよう。要約用のこの枠は、罫のマーク等をドラッグすることで行を増やすことも可能。  
筑波研究学園都市のレポートは、書式も工夫を凝らしてよい。もし実習でレポートのようなものを作成した場合は、それに手を加えてよりよい論文を目指してもよい。

.....

<p><b>1. 見出し1 (ゴシック 12pt)</b></p> <p><b>1.1. 見出し2 (ゴシック 11pt)</b></p> <p>本文(明朝10.5pt)はここから。 レポートは、最も印象に残ったことを中心にまとめてもよいが、分量は<b>3ページ以上</b>とする。なお、<b>謝辞や参考文献は必ず3ページ目以降に記述すること</b>(2ページ目までに入るようなら分量が少なすぎる)。文体は常体(である調)とする。レポートはそのまま(手を加えたりせずに)<b>お世話になった研究施設等に送付するので、充実した内容になるように頑張れ!</b> なお、特に充実した作品は、本人の許諾を得たうえで、文化祭等で展示する場合がある。 できるだけ図や表・写真等を入れよう。このレポートを見た人が施設の内容や特徴を理解し興味を抱きやすいものになるように。図・表・写真等を使う場合は、次の点を心掛けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文を補佐するものであること(つまり本文に説明が必要)</li> <li>・ 施設の内容に関わるものであること(記念写真のようなものは避ける)</li> </ul> <p>図1: ○○○ や、表1: ...の書き方や注意点は東大のレポートと同様である。 引用する場合、引用した範囲が特定できるように「」等にくくり、出典を参考文献の欄に記載すること。引用ではない場合でも、本レポート作成に当たって参考にしたものは記載せよ。 ファイル名は、「1942氏名-筑波(物質材料)レポート.docx」のように、出席番号・氏名・研究所名の一部を入れること。</p> <p>.....</p> <p>タイトル等の例: 下記は項目の構成例である。タイトルをそのまま使う必要はなく工夫せよ。自由に、自分なりの構成でレポートを作成してよい。</p> <p>.....</p> <p><b>1. はじめに</b></p> <p>.....</p>	<p><b>2. ○○研究所の概要</b></p> <p><b>2.1. 設置目的</b></p> <p>.....</p> <p><b>2.2. 特徴・特色</b></p> <p>.....</p> <p><b>3. 展示や実習に関する考察</b></p> <p><b>3.1. ○○装置について</b></p> <p>..... (興味をもった内容や印象に残ったことを中心に。複数ある場合は、本文の中で箇条書きしてから説明を述べるなどの工夫を。興味を持ったことがタイトルにも表現されるとよい。) .....</p> <p><b>3.2. 疑問点・問題点</b></p> <p>..... (単数ならタイトルで疑問点が何かを簡潔に表現し、複数なら本文で箇条書き&amp;説明などの工夫を。) .....</p> <p><b>4. おわりに</b></p> <p>.....</p> <p><b>謝辞</b></p> <p>.....</p> <p>[参考文献・参考URL] 参照した文献がある場合、番号に続けて、書籍の場合は、著者名、書名、ページ、出版社、発行年を記述し、Web ページの場合は、Web ページのタイトル、http://から始まるWeb ページのアドレス(URL)、閲覧した日付を記述すること。 例: [1] 筑波太郎, 学園都市計画考察, pp.48-52, つくば図書出版, 2005</p>
--	---

■ その他

- クリップボードの返却: 2学期最初の情報かサイエンス入門の授業後に返却します。

A series of horizontal dashed lines for writing.